

ことばの教室・まなびの教室のご案内

白石町教育委員会



通常の学級に在籍している子どもたちの中には、学習や生活の全般の遅れはないけれども、ことばやある特定の学習、集団行動、友だちとの関わりなどで困っている子どもたちがいます。そのような子どもたちが安定した生活を送れることを目指し、通常の学級に在籍したまま、必要な時間（週1～3時間）を「ことばの教室」や「まなびの教室」で指導を行います。

指導にあたっては、子どもたちの「よさ」を生かしながら、調和的な発達を促し、豊かな心を持った子どもを育てることを心がけています。

「ことばの教室」と「まなびの教室」は、こんな教室です。

白石町内の小学校には、福富小学校と有明西小学校に「ことばの教室」と「まなびの教室」をそれぞれ2教室ずつ設置されています。

また、中学校には、白石中学校を拠点校として巡回指導による「まなびの教室」を設置しています。

- 通級制・・・普段は、通常の学級に在籍し、決められた時間に「ことばの教室」「まなびの教室」へ通い、指導を受けることです。
- 学習の形態・・・教師と1対1の個別学習を基本としています。また、お子さんの様子に応じてグループ学習やペア学習を行います。
- 指導時間・・・週1～3回の指導を行います。1回の指導時間は、45分から90分程度です。通級に必要な時間は、授業時間とみなされるため、出席扱いとなります。

ことばやきこえに関することについては、主に「ことばの教室」で、学習や友だちとの関わり、集団行動に関することについては、主に「まなびの教室」で指導を行います。

1 学習・ことばの発達について

- 読み、書き、計算などの特定の学習につまずきがある。
- 話せることば（語彙）が少ない。
- 自分の気持ちや状況を、ことばで伝えることが難しい。
- 一生懸命に話を聞いているのに、話の内容を理解するのが難しい。

2 発音について

- 発音がはっきりしない。
- 発音に誤りがある。（例えば、「サカナ」を「タカナ」）
- ことばが鼻に詰まってはっきりしない。

3 ことばのなめらかさについて

- 言いたいことが、つまってうまく言えない。
- ことばの始めを繰り返したりのぼしたりする。

4 友だちとの関わり・集団行動について

- 冗談を真に受けてしまい、トラブルになることが多い。
- 相手が傷つくことを、平気で言う。
- ルールを守ることが難しかったり、勝ち負けに必要以上にこだわったりする。
- 集会等、大人数での活動に参加することが難しい。
- 自分の興味・関心のあることだけを、会話の話題にしてしまう。

5 「きこえ」について

- 名前を呼ばれても気づかないことや、聞き誤りや聞き返しが多い。
- 思うように会話ができない。

- 子ども一人一人に応じた個別の指導計画を立て、指導を行います。
- 指導の対象は子どもですが、指導の効果を高めるためには、ご家庭の協力が不可欠です。保護者の方と通級指導担当及び学級担任を交えた面談をもとに進めていきます。
- 「ことばの教室」「まなびの教室」で学習したことを、在籍学級の中でも生かせるようにお子さんが在籍されている学校の校長先生や担任の先生と連絡を取り合います。
- 関係の専門機関と連携を取り合いながら、効果的な指導を目指しています。

入級までの流れ

まず、入級の相談を学校と行ってください。それを受けて、校内で適正就学指導委員会が開かれ、入級について話し合いがもたれます。

次に、校内での話し合いをもとに、町での適正就学指導委員会で入級について話し合います。町の適正指導委員会は6月と11月の年2回行っています。

また、次の点についてのご理解をお願いいたします。

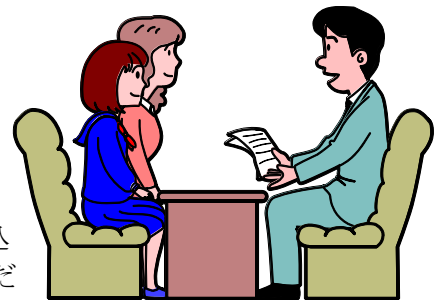
- 上記委員会での判定の結果、入級が認められない場合があること。
- 上記委員会で入級適と判定されても、入級待ちの場合があること。
- お子さんの特性を客観的に診断するために、WISCという検査を行うこと。

教育相談を受け付けています。

お子さんのことばの育ち・ある特定の学習のつまずき・きこえ・行動・情緒などに関する悩みをお聞きし、お子さんの様子を把握した上で、保護者の方と共に考え、状況に応じた情報提供やアドバイスをします。

通っている小学校（幼稚園・保育園等）を通して申し込まれるか、白石町教育委員会に電話で直接お申し込みください。相談は随時受け付けています。

また、7月と10月に専門家を迎えての就学相談会を開きます。相談を申し込まれた方は、白石町教育委員会までご連絡ください。



白石町教育委員会

〒849-1192 杵島郡白石町大字福田1247-1

TEL 0952-84-7128 FAX 0952-84-6611